

～ケーキもコグトレも切れない、親と教師たち～

コグトレに罪はない…ほんまに？

8月5日（土） 14：00～17：00

14：00～15：30 開会あいさつ・対論 （開場13：30）
(パネラー：松森俊尚・山口正和 コーディネーター：牧口一二)

15：45～17：00 フロアディスカッション

城東区民センター 4階中会議室



○コーディネーター 牧口一二（80年ばかり「障害者」をやってきて、「障害」以外に自分の取柄がないことに気づき、驚くばかり）
前回、ディベートの司会役で自分の立ち位置がわからんままやった。すんません。今度はコグトレの対象になってる障害者の立場で発言せんと……障害は「矯正」になじまへん、そのまんま「いきもの」の証。生きにくいのは社会環境の問題。

障害者が1人もおらへん社会なんて想像するだけで面白くない。高齢者や子ども期の問題も同じように考えられへんかなあ。

○パネラー 松森俊尚（元寝屋川市立小学校教員 著書『街角の共育学』、『けっこう面白い授業をつくるための本』など）

前回のディベートで最後に私はこう発言しました。「教育を語る環境が保守的になっている。やはり自分が少数派であることを実感した。この体験が、今回のイベントにおける私の一番の成果だったのではないか」と。そして「考えてほしい、いっしょの教室に居て、みんなが算数の授業に取り組んでいるときに、一人だけ（時には支援員が横につきながら）コグトレをやっている子どもがいる。『ともに学び、ともに育つ教育』ではそれを良しとするのだろうか」——と。さしづめ、そのことからひも解いて行ければと考えています。今回は「対話」を求めるつもりで、意見を聞きながらじっくり話し合いたいと思います。



○パネラー 山口正和（元小学校・養護学校・府立高校教員、現相談支援員）



前回、私はコグトレは多くの親御さんから支持され効果も上げている。「分ける」ことに使われているならそれは使い方に問題があるわけで、コグトレに罪はない、と主張しました。多くの賛同も得ました。しかし、本当にそうでしょうか？コグトレは使いようで、問題はないのでしょうか？「障害」のある子がひとりだけ、コグトレをさせられていることが問題なのでしょうか？今回はその辺のところをじっくり考え、議論してみたいと思います。

○内容紹介

- ・インターネットで「コグトレ、違和感」で検索してみましたが、ほとんどひっかからず礼賛するような記事ばかり。なぜ皆さん、この事態に違和感を覚えないんだろう？
- ・ほとんどの人たちが「コグトレはツールで使いよう。コグトレに罪はない。使う人次第でどうにでもなる」「自分は使わないけれども、場を分けないのであれば、やりたい人はやればよい」の流れになっていました。コグトレで、障害のある子が健常になれますか？
- ・山口さんが問うた「学校の仕事は何か？」という問い合わせに答えが出ないまま議論が進んでいったように思います。その答えは参加者も一緒になって考えた方がいい問い合わせであるように思う。
- ・無闇ループを切り裂いて、そこから飛び出す行動を提案すべきではないか。

前回「～学校の「あたりまえ」を問い合わせ直す～激論！コグトレ 松森 VS 山口」の感想等です。今回は6月20日にBS1で放送予定のコグトレをテーマにしたドラマ「ケーキを切れない非行少年たち」を踏まえた、コグトレをめぐる徹底討論です。あなたの参戦をお待ちしています！！

会場参加：先着20名 ZOOM参加：定員無し

参加費不要・要予約！

申し込み受付け締め切り：7月末日。予約は出来るだけメールで、下記連絡先へ

参加者の住所・お名前・アドレス（電話番号）・参加人数・参加形態（会場・ZOOM）
をお知らせください。ZOOM参加の方は後日URL等をお知らせします。

会場参加者は、自宅で検温の上、発熱・体調不良等のないことを確認の上ご参加ください。

○連絡先：障大連事務所（担当 西尾） TEL 06-6748-0646

MAIL npo-oil@mbd.nifty.com FAX 06-6748-0673

○城東区民センター地図

城東区役所と城東区民センターは同じ建物

大阪市城東区中央 3-5-45

☆Osaka Metro 長堀鶴見緑地線・今里筋線

蒲生四丁目 7号出口 約250m

☆大阪シティバス 36 門真南行き

大阪駅→南森町→京橋北口→地下鉄蒲生4丁目

☆京阪本線野江 改札を出て左へ約600m

☆JR おおさか東線 JR 野江 改札を出て右へ約750m

主催：障害者の高校問題を考える大阪連絡会

学びをひろげるわたしと〇（まる）人の会

「障害」児・者の生活と進路を考える会

共催：障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡

会議・劇団金夢太郎飴

